

子どもの支援利用計画 《学童期》

児童氏名	丸井 新之助くん	生年月日	平成19年 2月14日	相談支援事業者名	サードハウス子どもの相談支援事業所
保護者氏名	丸井 新様	本人との続柄	父親		
障害福祉サービス受給者証番号	77778888			計画作成担当者	所沢 小太郎
地域相談支援受給者証番号	99990000	通所受給者証番号	55556666		
計画作成日	平成28年3月21日	モニタリング期間(開始/終期年月)	半年ごと(H28.4月/H28.9月)	利用者同意署名欄	印

利用者及びその家族の生活に対する意向(希望する生活)	母親も就労していることにより、放課後、週末の福祉サービスを受けていきたい。学校での日々の生活では、先生方を含め周りのお子さんと協調して、迷惑をかけないように過ごしてほしい。また、兄姉には新くんのことでも苦勞させたくない。とにかく人のいうことを聞かずに、やりたいことをやってしまうので、日々困っている。
総合的な援助の方針	気持ちがいいくらいに生活リズムが整い、日中は元気いっぱい過ごしている新之助くん、パワーをもらっている人が増えています。随分と体力もついてきていますので、全般には、これまで通りの生活をキープしつつ、少しだけ地域で活躍していく機会を増やしてみたいのかもしれない。新之助くんが喜ぶことを考えていくことはもちろんのこと、ご家族の方のこれまでの生活が変わらない内容で、火曜日と木曜日の放課後、新たな場を求めてみたいと思います。それぞれ二回ほど、所沢と一緒に参加してみましたが、少しの戸惑いもなく、受けてくれる側のスタッフや先生も楽しい!と褒めてくれています。新之助くんの新しい一面を見つけられるといいですね。
長期目標	いつも夜遅いお疲れ気味(?)のお父さん、部活が忙しくなってきたお兄ちゃん、新くんの学校の様子を時々見に行き報告してくれるお姉ちゃん、ご家族の皆さんそれぞれに気をかけてはため息をつきつつよく頑張っているお母さん!ここで、新くんの先々のことも含めて、大まかな見通しが持てると、ちょっとだけ安心できることもあるのではないのでしょうか。知りたいこと、不安なことなどを思いついては書き留めていただき、夏休みくらいの時期にゆっくりと話し合う機会を持ちましょう。
短期目標	学校やそれぞれの事業所で、違った姿を見せている新之助くんですが、迷惑をかけているどころか、場の雰囲気や和ませてくれるからといって、例えば学校での交流の授業では、まず新之助くんに発言を求めたり、見本の役を担ってもらったりなど、先生方はとても上手に新くんに役割を求めています。今、新くんに関わっている方々から、新くんのいいところについてのコメントをもらっているところですので、集まったらまとめて読んでいただきますね。

優先順位	解決すべき課題(家族及び本人の発達のニーズ)	支援目標	達成時期	福祉サービス等種類・内容・量(頻度・時間)	課題解決のための本人の役割・立場	評価時期	その他留意事項
1	お母さんの就労の支援及び、放課後の生活について、家庭以外で過ごす機会をこれまで通りに持っていくこと。	これまで利用してきた放課後の場について、引き続き利用していきましょう。	六ヶ月後	▼デイサービスセンター・アーク 放課後、15:20~18:20(送迎込) 週に2日利用。月・金曜日 ◎放課後デイサービス・どあどあ 水曜日は14時過ぎ~18:10 土曜日は月二回ペースで9時~16時(送迎込)	アークではまったりと、どあどあでは大はしゃぎで過ごしてくださいね。	五ヶ月後	アーク様・どあどあ様 度々連絡させていただきましたが、改めまして、新くんの新たな生活のために今回の提案にむしる積極的に賛成していただきありがとうございます。また、今後のフォローについても一緒に考えさせていただきます。
2		放課後や週末など、地域での社会的体験を重ねてもらいましょう。	六ヶ月後	★サムシング居宅介護支援センター(移動支援) 土曜日に月2回ペースで、9:00から16:00まで 火曜日は15時半~16時+17時半~18時 ◆森林介護支援事業所 木曜日の15時半から16時	土曜日の半日のお出かけはとても励みになっているようです。市内バスを利用するお出かけもいいですね。「バス出る!」って言ってみようね。	五ヶ月後	サムシング居宅介護支援センター様・森林介護支援事業所様 火曜・木曜日は、学校への迎えや家までの送りについて、すばしく、パワフルな新くんをどうぞよろしく願いいたします。
3	地域で活躍できる場所を増やしていくこと	すてきな場所が見つかりましたので、新たな新くんの姿を見守りましょう。	六ヶ月後	▲夕陽児童センターブルースカイクラブ 火曜日の16時~17時半 ●美空絵画教室 木曜日の16時から17時過ぎ	新くんが楽しめるのは確認済み!です。それぞれのスタッフや先生を喜ばせてあげてね。	五ヶ月後	ブルースカイクラブには、学校を欠席気味な生徒さん、お友達作りが少し苦手なという生徒さん、部活に所属せず、帰宅後の生活を持て余し気味な生徒さんが、集まって主にもものづくりをセンターのスタッフと取り組んでいます。
4	新くんの進学先、高校、その先の進路について考えていくこと	新くんも大きくなり、先々のことも少しずつ気になっていきますね。大まかですが、今後のことについてゆっくりと話し合しましょう。	六ヶ月後	新くんが成長してきているだけに、ふと将来のことが気になってしまうこともあるものです。新くんの5年先、10年先のことを具体的に考える必要はないのですが、大まかにどのような選択肢があるのかは知っておいた方が却って安心できるかもしれません。まずは、どんなことが知りたいか、ゆっくりと思いついたことをメモしていきましょう。7月か8月くらいに、学校の先生と利用している事業所の方と、長年子どもの支援に関わっているM支援センターの山口先生をお呼びして、みんなで話し合う集いを開きますので、どうぞその時にいろいろなお話を聞かせてください。		五ヶ月後	ご両親のご都合に合わせていきますので、ご夫婦そろってご参加できる時間と日を早めに考えてみてください。
5	お兄さん、お姉さんとの関係について	うるさくって、よく邪魔ばかりする新くと、これからどう付き合うかの作戦会議をしましょう	三ヶ月後	《おにいちゃん・おねえちゃんへ》兄弟姉妹の会というのにお母さんが参加させようかなって言うていましたけど、それより今度新くんの攻撃をどうかわすか、いくつか提案するので話を聞いてね。来月の●日土曜日に、所沢のおっちゃんとおんちゃん、面白グッズを持って参上します!!		五ヶ月後	もし面白かったと思ってくれたのなら、また他の面白グッズを持って参上します。そっとお母さんに感想を伝えておいてね。

子どもの支援利用計画【週間計画表】 《学童期》

子どもの名前	丸井 新之助くん	保護者氏名	丸井 新 様	相談支援事業者名	サードハウス子どもの相談支援事業所
住んでいる市町名	月ノ光市 夕陽町			計画作成担当者	所沢 小太郎

計画開始年月 平成 28年 4月

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								<p>★家庭内での過ごし方 *家族がそろった時が一番テンションは上がってくるようです。お兄ちゃん、お姉ちゃんが上手に接しているのに感心しました。一人でよさこい踊りに興じるなど、わりと一人で楽しめている時間もあるのだなとも感じました。家庭でもまったりと過ごしていく時間は、新しくにとって大切でしょうね。ただ、勝手に電化製品も含めてスイッチを入れて扱おうとするところがあるので、一人にはさせられませんねえ。</p> <p>★放課後デイサービス事業所での様子 *「アーク」では、いつもと一味違う新之助君の姿が見られます。『優しいおばあちゃんたちによるほっとスペース!』が売りの「アーク」の温かな世界に、新之助君もはまっています。穏やかでゆったりとした動きの新之助君の姿に触れることができ、こうした姿も新之助くんなのだろうなども感じました。新之助君のことをよく理解して、優しく、タイミングもよく声をかけており、とてもリラックスして過ごせているようです。ヨーロッパの片田舎の家を思わせる雰囲気の空間と、素敵なお庭を見ると、気持ちが落ち着きますよね。「どあどあ」では、平日はなかなかゆっくりと過ごす時間が少ないようですが、事業所までの車中も含め、利用仲間との関わりを楽しめることが増えているように思います。土曜日に利用するときは、食事も含めて家庭的な中で楽しく過ごせています。それぞれ利用日は減りますが、しばらく様子を見て元に戻すことはOKとさせていただいています。</p>
8:00			登校					
10:00	学校	学校	学校	学校	学校			
12:00								
14:00								
16:00	学校は主に15:30~15:40に下校			学校は主に15:30~15:40に下校				
18:00	トアタスサデー サービス センター	サムシング・移動支援 夕陽児童センター	放課後デイサービス・どあどあ	森林介護支援事業所 美空絵画教室	アタビサービス センター	月に2日 護支援センター サムシング居宅介		
20:00								
22:00				就寝				
0:00								
2:00								
4:00								

支援の実施によって実現する生活の全体像

保育所の時からこれまで、すくすくと元気いっぱいに育っている新之助くんですね。体力もさらについてきて、力があり余っている様子もみられ、何かと迷惑をかけているのではないかと心配されているお母さんの思いの中、しっかりと新之助くんは周りの方々、子どもたちにより一層溶け込んでいるように感じます。ご両親のお仕事も、これまで通りに続けていけることはもちろんのこと、新之助くんの持っているパワーが、今まで以上に発揮できるための工夫も考えてみたいものです。新たな試みは、10年後に一人でお出かけし、一人で過ごす時間を持つこともできるようになるためのきっかけづくりと考えています。ご両親には少し心配をおかけすることになりましたが、新しく関わってくださる方は、新之助くんのためにとでも積極的に取り組んでくれそうです。できるだけフォローはしていきますので、どうぞ見守ってください。

子どもの現状（基本情報） 《学童期》

作成日	平成 28年3月21日	相談支援事業者名	サードハウス子どもの相談支援事業所	計画作成担当者	所沢 小太郎
-----	-------------	----------	-------------------	---------	--------

1. 子どもの育ち(支援経過・現状と課題等)

夕陽小学校3年生。特別支援学級在籍。ダウン症。パワフルで活発な男の子。毎日元気よく学校に通い、知った人がいるとすぐに近寄っていき、大きな声を出してからんでいくようです。抱きついていたり、ちょっかいを出したりするので、学校では先生によく注意を受けるようですが、注意を受けるほどに楽しくなって、おふざけを楽しんでいるところもあるようです。授業中も、やりたくないことがあるとすぐに床に寝転んでしまい、「うっさい(うるさい)」「だまえ(黙れ!)」と口ぐせのように言うところもあるそうです。行事では張り切り過ぎるのか、例えば、徒競走の途中で踊り出したり、アカンペーをしたりして注目を浴びるようなことをよくやってしまうので、保護者の間でも有名なようです。日常的な指示は、よく理解できるようになっており、自分の意思を示せることも増えてきているようです。一方では、ぶつぶつと独り言を言いながら、絵を描いたり、図鑑をずっと眺めたりなど、一人で長時間過ごすこともあるようです。「以前はもっと大人しかったのに・・・」という話をお母さんから伺いましたが、発達段階から考えると、自己主張ができ出して、受け身の部分が目立っていた新之助君が、大いに表現でき出したとも考えられますので、お母さんがもっと先生の言うことを聞いてほしいと願うことは、なかなか叶えられないかもしれませんね!?

2. 子どもの状況

子どもの名前	丸井 新之助くん	生年月日	平成 19年 2月 14日	年齢	9歳
住所	●●県月ノ光市夕陽町森林2丁目100-100			電話番号	000-111-2222
				緊急連絡先: 上記の他にあれば記入	
愛称 (ご家族の方がお子さんを呼ぶときによく使う言い方)	しんくん	手帳の有無	療育手帳 <sup>®</sup>	性別	男・女

発達の状況 (主に家族から聴取した情報)

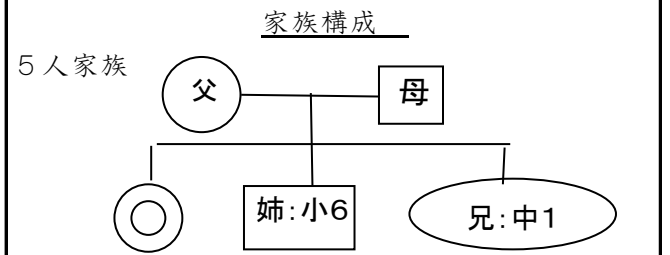
●運動～補助輪付きの自転車に乗ることができるが、暴走するのでこのところは乗せていない。怖がりなところはあつものの、ちょっとした高さから飛び降りたり、自分の背の高さより高い鉄棒にしばらくぶら下がることはできる。ボールをけつたり投げたりすることは大好きで(受けることは難しい)、野球をしている中に入り込んで、よく相手をしてもらっている。プロレスごっこに近いようなじゃれ合いも大好き。  
●好きなもの～音楽に乗って踊ることが大好きで、特によさこい踊りは、「ハッ!」と言いながら汗びっしょりになって踊っていることは、学校でも家でもある。そのよさこい踊りのライブ録画や動画は飽きずによく観る。朝観始めたら、学校に行こうとしなくなるため、家では目に触れないところにDVD等管理しているとのこと。ボールを持たせてもテンションがすぐ上がり、力任せに投げたり、蹴ったりし始めるため、校長先生を始めとして、多くの先生たちがボールをぶつけられている。ゲームセンターにはよく行きたがるが、何のゲームをするというわけではなく、興奮気味に大声を上げて他の子がやっているゲームに乱入し、時にゲーム機の上に乗ってしまい「演説」が始まってしまうので、パパと一緒にいないと連れて行けないとのこと。YouTubeで「八時だよ全員集合」をよく観ている。  
●休日の時など家庭の中でよくしていること～家族の誰かに付きまとい、同じことをやろうとする。ただ、兄たちが宿題をやっている時など、やはり勉強らしきことはやるが、すぐに飽きて、兄たちがやっているものを取り上げて、投げたり、プリントをやぶろうとしたりするとのこと。(お母さんいわく、何度かお兄ちゃんが新しく宿題を細かく破らせていたことがあったとのこと!いい考えですね!)  
●食事の時は～練習用の箸を用意しているが、すぐに手づかみになるので、スプーンも用意しているとのこと。ごはん大好き!ふりかけ大好き!  
●排泄について～トイレでは、どうしてもズボンをよく濡らしてしまう。用を足している最中に周りの子にちょっかいを出し、よそ見ばかりしているかららしい。新しくおしっこをかけられた子もいるとのこと。排便:時間を決めて洋式トイレに座らせている。大体毎日出ているが、排便できるまで時間はかかることが多い。  
●入浴～家族の皆が交代で曜日を決めて、新しく一緒に入るようにしている。お姉ちゃんの時が一番大人しく、さっさと体を自分で洗うとのこと。  
●意思の伝え方～要求は言葉で訴えるが、発音不明瞭でなかなか伝わらない。絵カードやコミュニケーションボードを使ってはみているが、すぐ投げ捨てられる。  
●手伝い～いろんなことに興味を持ってくれるので、本人はやりたがるが、母の仕事が増えるだけなので、あまりやらせたくないとのこと!(その気持ちわかります!)  
●交通ルールの理解～追いかけてもらおうと突然笑いながら走り出したり、気に入らないことでもと座り込んでしまったり、つないでいる手をすぐ振り払ったりするので、目は離せないとのこと。  
●苦手なタイプ～指示の多い人、表情に気持ちが出にくいタイプの人は苦手。

医療の状況 ※受診科目、頻度、主治医、疾患名、服薬状況等

●健康・体調について 体調を崩すことはなく、元気に学校には通っている。視力～本を眺めたり、テレビを観る時は、かなり目を画面の近くに寄せている。弱視。眼鏡は使用。白内障、日中は帽子をかぶるように配慮が必要。進行予防のため、点眼は続けている。  
聴こえ～日常的に問題はない。  
●健康面で配慮すること～季節の変わり目や冬場はよく鼻水を出している。幼い時は両足首を中心とした補装具を使用していた。入眠時を始めいびきをよくかいている。特別な健康上の配慮をしていない。  
●気を付けてもらいたい病状～生後、心室中隔欠損が認められたが、運動制限が必要な状態ではないなど、特段治療の対象ではない。診察中、医師に向かって「やめる!ばか」と言っは手にしたものを投げつけることが何度かあり、つばを吐くなどお構いなしの状態に何度かあり、母としては、きちんと診察を受けたことはないと思うとのこと。かかりつけ医: H小児科、耳鼻科: KK耳鼻咽喉科(この一年は受診していない。)眼科は、MN眼科を受診中。

生活歴 ※受診歴等含む

子育て支援センターの親子教室に通っていた時に、児童発達支援センターMM園を紹介され、二歳児の時に入園。年中の時からはHH保育所と三日ずつの併行通園。年長の時は、保育所に週五日通い、MM園には週一日通園。H25.4月/月ノ光市立夕陽小学校に入学。特別支援学級(知的障害)に籍を置く。現在小学校3年生、6人のクラス(1年生2名、2年生1名、6年生2名。)



子どもの発達の評価 (今後の発達課題)

チャレンジ精神旺盛で、どんなところでも臆することなく、誰にでも声をかけていく。誘われたら、どこにでもついて行ってしまふところもある。注意はそれ易いため、何にでも誘われるまま取り組むが、飽きるのは早い。できないことがあると、近くの人にすぐ甘えてやらしてもらおうとする。模倣意識は十分あつものの、机上での課題となると、途中ふざけ始め、遊びになってしまう。一緒にまねながら、数えたり、本読みをしたりもするが、覚えようとする感じではない。着衣など日常的なことに意欲的に取り組むも、前後左右間違えていても、それを指摘されても修正することはまずない。

家族の主訴 (意向・希望)

母親も就労していることにより、放課後、週末の福祉サービスを受けていきたい。学校での日々の生活では、先生方を含め周りのお子さんと協調して、迷惑をかけないように過ごしてほしい。また、兄姉には新しくのことで苦勞させたくない。とにかく人のいうことを聞かずに、やりたいことをやってしまうので、日々困ってはいる。

3. 支援の状況

	名称	提供機関・提供者	支援内容	頻度	備考
公的支援 (福祉サービス等)	放課後等デイサービス	デイサービスセンター・アーク 放課後、15:20～18:20(送迎込) = (13日/月まで)	子どもへの発達支援(生活の質を高めるための支援)	主に週3日	月・火・金曜日に利用。
	放課後等デイサービス	放課後デイサービス・どあどあ 放課後の場合、水曜14時・木曜15時～18:10 土曜9時～16時(送迎込) = (10日/月まで)	子どもへの生活支援(小集団での生活体験を重ねていく)	週に2～3日	土曜日は月に二回ペース
	移動支援	サムシング居宅介護支援センター(月ノ光市茶々町) 主に8:30から15:00までの時間帯。	保護者の就業支援	月に2回	晴れの日には小学校の校庭に行つてボール遊び

子どもの現状（基本情報） 【現在の生活】

子どもの名前	丸井 新之助くん	相談支援事業者名	サードハウス子どもの相談支援事業所
		計画作成担当者	所沢 小太郎

	月	火	水	木	金	土	日・祝	主な日常生活上の活動
6:00								<p>*小学校では、書写の時間は苦手なようで、頑張って平仮名を書いています。ノートや筆箱を投げてしまうことも少なくないようです。職員室に行くこと、校長室に行くことは大好きで、用事がない時は、身振り手振りで、チョークやプリントを手に持ち、さも用事がある行かなければならないことをよく主張してくるようです。（教頭先生に頼まれて、全教室にプリントを持っていく手伝いをした時は、大はりきりだったとのこと。）給食や朝、帰りの時間は交流学級で過ごしており、（以前は音楽や体育、清掃の時間も一緒でした。新之助くんの独断場になってしまうこともあるため、減らされたようです!!）本人としては、交流の時間は楽しみで、大きな声でしゃべりながら、手を大きく振って教室に向かっていきます。もっと皆と一緒に過ごす時間は欲しいのかもしれない。流れに沿わずに次の行動に移せないようなところは数多くあり、よく注意を受けてはいるようですが、朝学校に行き渋ることはないようです。運動会などの行事の時は、先生が一人ついていても、いつの間にか振り切って、マイクを取って話したり、ご父兄に手を振って深く頭を下げて歩き回り出したりするので、有名なようです。（お母さんとしては、目立ってほしくないようですし、なぜそこで先生は目を離してしまうの！と感じてしまうのですが、新之助くんの登場を待ち望んでいるファンは毎年ごとに増えているそうですよ。）</p>
8:00	<p>近所の子どもと一緒に数人で歩いて学校にいます。新くんがよくふざけてしまうので、昨年度まではお母さんについて行っていたようですが、登校中にふざけるとお母さんがついてくるようになることが理解できたようで、ちょっとふざけ始めたところで、「しんくん、おかあさんがくるよ!」と言うと、「だめよ〜」と言ってルールを守れるようになったようです。</p>							
10:00	学校	学校	学校	学校	学校			
12:00								
14:00	<p>学校は主に15:00~15:20には終業 水曜日は13:40~14時には終了</p>							
16:00	タビデイ アール・セン ター	タビデイ アール・セン ター	放課後デイ サービス・ どあどあ	放課後デイ サービス・ どあどあ	タビデイ アール・セン ター			
18:00						月に2日		
20:00						月に2日		
22:00	就 寝							
0:00								
2:00								
4:00								
							週単位以外のサービス	
							以前利用していた日中一時支援については、当分の間利用していない。短期入所について、この一年利用はしていない。兄や姉の行事や保護者会の時などの時に、移動支援を利用するときがある。月に1~2回のペースで利用。	